



# 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.81)

## 東京 PCB 廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での2025年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理完了台数	操業開始からの 処理完了台数の累計
トランス類	0台	3,803台
コンデンサー類	34台	85,630台

\*低濃度 PCB 廃棄物については、2013年6月に処理を完了いたしました。

## 令和7年度事業方針

4月1日、年度初めにあって、JESCO 東京 PCB 処理事業所・田中所長から JESCO 社員と運転会社の東京環境オペレーション(株)社員に令和7年度事業所方針について訓示を行いました(内容は以下の通り)。

令和7年度は、事業終了準備期間の最終年度であり、PCB 処理事業の終了に向けて高濃度廃棄物の処理契約締結期限、最終搬入完了予定日が設定されました。令和7年度末の処理終了に向けて環境省及び自治体と更に連携して確実に処理を完了させる重要な年度です。

事業所の目標は、安全・確実な操業を確保しつつ「高濃度 PCB 廃棄物の処理対象物を確実に処理完了させる」「施設内に残存する高濃度 PCB を極力無くす」「計画している解体撤去を確実に進捗させる」「令和8年度以降の大きく変化する事業運営が問題なくスタートできるように準備・確認する」です。

令和6年度に引き続き労働災害ゼロ、大きなトラブルゼロを達成できるよう、非常作業の手順書を組織的に確認し、安全確実に進め、操業の処理・作業、解体撤去工事等の全てにおいて「安全」を最優先に取組むことを全員で誓いました。



事業所方針所長訓示

### 令和7年度 JESCO 東京 PCB 処理事業所方針

1. 安全・確実な操業体制を確保し、信頼される操業を維持する。
2. 事業終了準備期間に発覚する処理対象物の計画的かつ確実な処理を推進する。
3. 運転廃棄物及び解体廃棄物を適正に調整・処理することにより保管量の低減に努める。
4. 施設の維持保全計画に基づく設備保全により、設備の健全性の維持に努める。
5. 先行解体撤去の着実な実施と工事・作業の安全確保に努める。

## ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京 PCB 処理事業部会を開催しました

3月10日、JESCO 本社を会場に、会場及びWeb参加にて2024年度第3回東京PCB処理事業部会(主査：永田勝也早稲田大学名誉教授)を開催しました。

部会の概要は以下のとおりです。

議題1：2024年度下期におけるPCB処理の操業実績

議題2：東京事業所におけるPCB処理の今後の見通し - 2025年度の「当初計画」 -

議題3：東京事業所における施設の先行解体撤去工事についての2024年度下半期の実績と2025年度の予定

議題4：「東京 PCB 処理事業所不要設備に対する先行解体撤去工事の実施のための指針」の改訂

議題5：「東京 PCB 処理事業所 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去計画の概要」の改訂

議題6：「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」の改訂

議題7：2024年度の設備保全の実施状況と2025年度の設備保全予定項目

議題8：先行解体撤去工事に関する文書の策定(その8)

(1)「安定器等処理設備 PCB除去分別作業 結果報告書(案)」



東京事業部会

- (2)「コンデンサー解体設備 洗浄作業結果報告書(案)」
- (3)「コンデンサー解体設備 PCB付着状況調査 結果報告書(案)」
- (4)「コンデンサー解体設備 PCB除去分別作業の途中経過報告書(案)」
- (5)「鉄心コイル破碎・分別設備 PCB除去分別作業の途中経過報告書(案)」
- (6)「廃粉末活性炭スラリー化装置 PCB除去分別作業 結果報告書(案)」
- (7)「廃粉末活性炭スラリー化装置 解体撤去工事 途中経過報告書(案)」

議題9：東京事業所 2024 年度内部技術評価の結果報告と所見への対応

議題10：2025 年度東京 PCB 処理事業部会の開催時期・議題

今後も各委員からご指導を頂き、引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

## 東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会を開催しました

3月18日、ホテルイースト21東京を会場に、会場及びWeb参加にて第52回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(委員長：森口祐一 国立環境研究所理事)を開催しました。



環境安全委員会

委員会の概要は以下のとおりです。

議題1：東京 PCB 処理事業所 2024 年度の処理・設備保全の状況及び今後の処理見直し

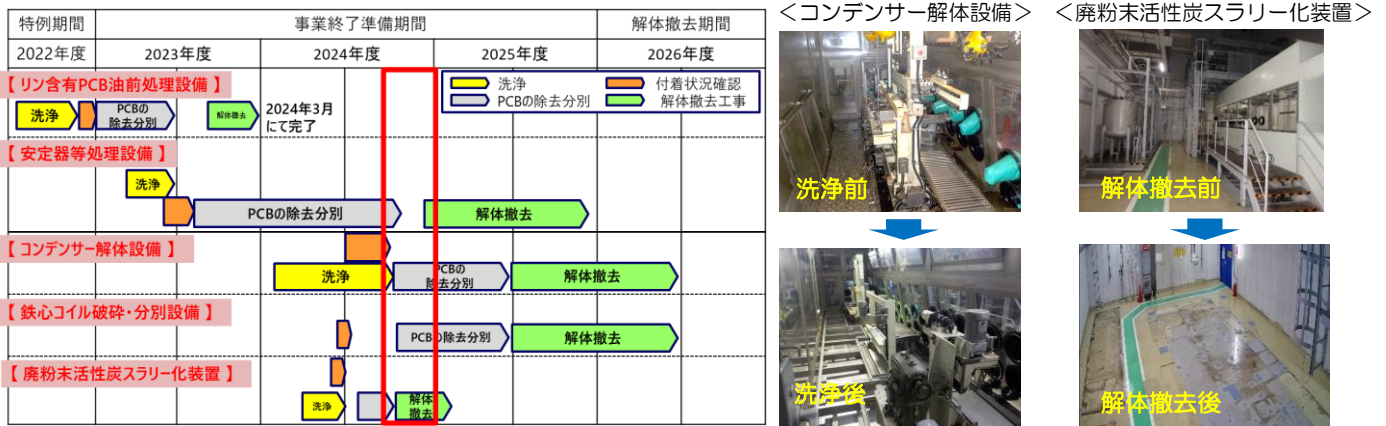
議題2：東京 PCB 処理事業所 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去の進捗状況  
会議では、事業終了に向けた今後の処理について、ご意見・ご助言等をいただきました。いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、

引き続き安全・確実な処理を行ってまいります。

## PCB 処理施設解体撤去情報

不要設備について、2026 年度から始まる本格解体撤去に先行して事業終了準備期間(2023 年度~2025 年度)において、解体撤去を実施しています。(下図参照)

1 月~3 月では、廃粉末活性炭スラリー化装置の解体撤去工事やコンデンサー解体設備及び鉄心コイル破碎・分別設備の PCB 除去分別を実施しました。



## 第4四半期(1月-3月)施設見学状況

1 月から 3 月までの間に、2 団体 16 名に施設見学にお越しいただきました。

	1月	2月	3月	計
団体数	1団体	1団体	-	2団体
見学者数	13名	3名	-	16名

★「事業だより」は過去の掲載分も含め以下の JESCO ホームページからご覧頂けます。

(<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/about.html>)



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京 PCB 処理事業所  
〒135-0066 東京都江東区海の森二丁目2番66号  
TEL03-3599-6023

<https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>